

特定非営利活動法人

深谷にぎわい工房

ニュース No.7

2003年12月号

発行日：2003年12月14日（隔月発行）

発行所：特定非営利活動法人 深谷にぎわい工房

深谷町オフィス（柳瀬商店レンガ倉庫内）

〒366-0825 埼玉県深谷市深谷町

（中山道深谷町交差点近く）

メール：info@npo-fnk.org

ウェブサイト：http://www.npo-fnk.org

「深谷にぎわい工房」は、地域社会における生活の質の向上と活性化に貢献するために、まちづくりに関する調査・研究の実施、情報受発信、セミナーやイベントの開催、政策提言等を行うNPO（Non-Profit Organization：非営利組織）です。

柳瀬商店レンガ倉庫再生プロジェクト

深谷にぎわい工房は、所有者のご依頼を受け、柳瀬商店レンガ倉庫を市民のための多目的スペースやコミュニティ・ビジネスの場、NPOや市民団体のためのオフィス・スペースとして再生するプロジェクトを展開しています。レンガ倉庫は、1933年頃に建てられた倉庫で、1階部分がレンガ造、2・3階部分が木造です。深谷にぎわい工房の事務所もレンガ倉庫に引越しました。

「あんどきゃよかった」写真展・開催

2003年10月25日(土)、26日(日)

10月25日(土)・26日(日)に、「あんどきゃよかった」写真展-写真で見る懐かしの深谷-を開催しました。この事業は深谷宿ミステリーツアー協賛事業で、倉庫内部はミステリーツアーの休憩所としても利用されました。

2日間で老若男女問わずのべ250名が来場しました。来場者の中には、卒論のテーマが「中心市街地の活性化」といことで新座から来られた学生をはじめとして、さいたま、上尾、桶川など、遠方から来られた方も多くいらっしゃいました。

また、レンガ倉庫自体に興味を示される方も多く、レンガ倉庫を利用して「自分の作品展をさせてほしい」と申し出された方も数名いらっしゃいました。また、写真展にあわせ藤原町の視察を受け入れ、私どもの説明に対して「勉強になりました」と喜んでおられました。

今回、中心市街地活性化の一つの方法として、レンガ倉庫の再生プロジェクトが有効な手法のひとつになりえそうだ、ということは示せた気がし

ます。しかし、レンガ倉庫の活用・運営については様々な課題が出てきており、これらを課題で終わらせず今後の事業取り組みの研究材料とし、解決していくプロセスを踏んでいく必要があります。



レンガ倉庫内部の様子

中央はミステリーツアーの休憩所として使用した



レンガ壁面に写真を展示した

その他プロジェクト報告

「埼玉・住まい・まちづくり交流展 2003」

2003年10月17日(金)午後～21日(火)午前

県内の住まい・まちづくりに関係しているNPO、大学、専門家、自治体がそれぞれの結び付きを深めるとともに、住まい・まちづくりに関心を持つ市民に対して、日頃の活動事例の展示やセミナー等を開催する催しで、深谷にぎわい工房もパネル展示を行ってきました。

「蔵元演奏会」

2003年11月3日(祝)13:00-15:00 16:00-18:00

11月3日(祝)に、「蔵元演奏会～リコーダーによる子供たちとのふれあい演奏会～」を開催しました。この演奏会は、中心市街地にある歴史的建造物「田中藤左衛門商店」酒蔵において、アコースティック楽器による演奏会を開催するもので、文化的なイベント開催による街なか活性化や元禄七年から創業されている田中藤左衛門商店さん酒蔵の歴史的資産価値の再認識などを目的として開催したものです。2回公演(1回公演定員40名、事前予約制)で2回とも満員でした。



蔵元演奏会の様子

演奏会には及川茂、国枝俊太郎の両氏(リコーダー奏者)をお迎えしました。演目のベースはバロック音楽でしたが童謡や誰もが知っている曲も披露、「きれいな音色の出し方」などを子どもたちへ語りかけ紹介しながら本格的な楽曲を演奏してくださいました。

会員自己紹介コーナー

深谷にぎわい工房の会員が自己紹介をします。今回は原稿依頼が間に合わなかったため、このニュースレターを作成している自分を紹介します。

天野伸哉 (会員)

みなさんこんにちは。今年5月から深谷にぎわい工房に関わるようになった、都市計画専攻の大学院生です。現在、都内で一人暮らしをしています。昨年夏、学部最後の演習(授業)で大学の先輩でもある村山理事の案内のもと深谷を初めて訪れ深谷ファン?になり、10月の「2002年埼玉住まい・まちづくり交流展」でパネル展示を拝見し深谷にぎわい工房に興味を持ち、大学院進学とともにいつの間にか入会していた?次第です。現在、主にこのニュースレターの発行とウェブサイトの管理をやっています。歴史的資産の活用はもちろん、まちづくり団体が活動を展開していく上で、他の組織とどのような関係性を築いてまちづくりを進めていくのか、ということに興味があります。深谷にぎわい工房の取り組みは、自分で参加しても楽しく研究的側面からも興味深く、会員の一人として今後の展開が楽しみでなりません。



会員募集中

深谷にぎわい工房では、現在、会員を募集しております。詳しくは、ホームページにて。

年会費

正会員	個人会員・団体会員	5,000円
賛助会員	個人会員	2,000円を1口以上
	団体会員	2,000円を5口以上